

## 学習フィードバックシート

プロジェクト名：ロボット型ユーザインタラクションの実用化 - 「未来大発の店員ロボット」をハードウェアから開発する -

グループ名： グループ3

担当教員名：三上貞芳, 高橋信行, 鈴木昭二

学籍番号 b1018247 氏名 普久原 朝基

### 1. 自己評価

評価項目	自己評価 (点数/満点)	評価基準
出席	10 /10	無断欠席回数： ・ 0回(10点) ・ 1回(5点) ・ 2回(0点)
週報	3 /10	標準点：7点 ・ すべて提出したか？ 不備はないか？ ・ 提出期限は守られているか？ ・ 報告事項の内容は十分か？
グループ報告書	7 /10	標準点：7点 ・ 誤字、脱字はないか？ 様式、体裁は整っているか？ ・ 十分な記述量があるか？ ・ 内容に矛盾がなく、再現性や合理性があるか？ ・ 客観的な記述がされているか？
発表会	7 /10	標準点：7点 ・ ポスターはわかりやすいか？ ・ 聴講者に理解してもらえたか？ ・ 説明方法は適切であったか？
外部評価	8 /10	標準点：7点 ・ 発表会やアンケートを通じた外部からの意見の評価 ・ 検討を十分行ったか？ ・ 外部意見を課題解決策に反映することができたか？ ・ 自分勝手な課題解決策になっていないか？
積極性・協調性	7 /10	標準点：7点 ・ 自ら積極的に課題を設定したか？ ・ 自ら積極的に課題の解決策を考案したか？ ・ 自ら積極的に課題を解決したか？ ・ 課題設定・解決のために議論を十分行ったか？ ・ メンバーとお互いに協力し合ったか？
計画性	16 /20	標準 14点 ・ 適切な作業計画を立てることができたか？ ・ 適切な作業分担を行えたか？ ・ 計画通りに作業を進めることができたか？ ・ 必要に応じて柔軟に計画を修正できたか？
成果	16 /20	標準 14点 ・ プロジェクト遂行に必要な知識・技術を獲得できたか ・ プロジェクトへの貢献は十分であったか 自分たちが納得できる成果が得られたか？
合計点	75 /100	

(注)週報の不備を、システム情報科学実習のホームページ→週報の提出確認のページから確認すること。

## 2.理由

自分自身で上記の点数の評価を行ってください。その根拠はどういうものであるのかについて**10行程度**の理由を述べてください。

前期のプロジェクト活動において、私の自己評価点数は75点である。

週報の点数が低い理由について、中間発表以前の提出状況が悪く、中間発表後にまとめて提出してしまったのでこの点数をつけた。

そのほかの項目について、プロジェクトがあった日には時間通りに出席し、グループワークにおいても協調性を重視しグループメンバーとも十分にコミュニケーションを取れていた。

また、グループ週報についてもメンバーで分担して提出を行い、内容も十分基準を満たしていたと考える。

中間発表においてもポスター制作や発表などを行い、発表の成功に貢献できた。

プロジェクト発足時に目的としていた進捗も達成できていた。

以上より、概ね減点要素は少ないと判断し、標準点かプラス1、2点という自己評価を行った。

## 3. 共同作業者によるコメント

同一グループのメンバー**全員**からのコメントをもらってください。とくに、チームの中での自分の作業の良かったところ、問題のあったところなどについて。

コメンター氏名 小山内駿輔：

発想が非常に面白く、何度も関心する場面がありました。  
また話しやすく非常に優れたムードメーカーでした。

サイン 小山内駿輔

コメンター氏名 田澤卓也：

とても協調性と積極性があって頼りになった。今後も必要な知識を得ながら一緒にプロジェクト頑張らしましょう。

サイン 田澤卓也

## 3. 担当教員によるコメント

必要に応じて、担当教員からコメントをもらってください。ただし、サインは忘れずにもらっ

てください。

教員サイン 三上貞芳，高橋信行，鈴木昭二